



# 第38期 中間報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日



 **三協フロンティア株式会社**  
JASDAQ

証券コード:9639

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は、「ユニットハウスを通じて、建物の再利用化をすすめ、資源循環型社会の形成に貢献すること」を社会における当社の存在理由としています。ユニットハウスは、必要なときに必要な空間を必要なだけ利用し、その場所で不要となったら別の場所に移設し、再利用を行うという、今までの建築概念にない発想を可能としています。「これからの社会システムに必要とされるものを自ら作り出し、そのオリジナル製品によって社会に貢献する」という創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツを原点に、今後もさらなる成長・拡大を目指してまいります。

代表取締役社長 **長妻 貴嗣**



### 当中間期のハイライト

当中間期は、主力のSPACE SERVICE事業（仮設ユニットハウスのレンタル・販売）において、堅調な建設投資を背景に大手ゼネコンを中心としたレンタル受注に注力し、さらなるシェアの拡大に努めてまいりました。一方、SPACE NAVI事業（ユニットハウスの展示販売）においては、不採算店舗の閉鎖や営業力の強化に取り組んでまいりました。また、U-SPACE事業（トランクルーム）においては、快適かつ安心してご利用いただけるトランクルームを展開しております。

その他、現場の意識改革として、コスト意識を高めた利益追求型の業務体制を確立すべく様々な施策に取り組んでおります。

これらの結果、当中間期の売上高は8,277百万円、経常利益は401百万円となりました。当中間期における実績は前年同期比で減収減益となり、通期の業績見込みにつ

いても期初の見込から修正いたしました。これらの業績を真摯に受け止め、これからの経営にさらに邁進していく所存でございます。また、中間配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり6円25銭を実施いたしました。なお、年間配当金におきましても、期初の予定通り1株当たり12円50銭を実施する予定です。

中期的な事業展開としては、現状の主力事業であるSPACE SERVICE事業を安定的に成長させながら、SPACE NAVI事業およびU-SPACE事業の規模拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

## 営業の概況

### SPACE SERVICE

—スペースサービス—

主に、建設現場向け仮設ユニットハウスのレンタル。大手ゼネコンを中心に建設受注は堅調に推移。

75%

公共投資は縮小傾向にありますが、大手ゼネコンを中心に民間の建設受注は増加傾向にあり、これを受けて、売上高は、前年同期比100百万円（1.6%）増加の6,210百万円となりました。出荷棟数は、前年同期比8.9%増加しております。プレハブから、環境面や安全面においてより優れているユニットハウスへのニーズが高まっており、シェアを拡大すべく、ユニットハウスの増強を行い、受注活動に注力してまいります。



### SPACE NAVI

—スペースナビ—

中小企業向けのユニットハウスの販売。一店舗当たりの売上高を拡大するため、営業力の強化に注力。

17%

前期より、中古販売から新棟を販売する展示場へとシフトし、特に主力製品である「クイック・オフィス【Quo】」の販売に注力してまいりましたが、第1四半期において受注活動に苦戦し、売上高は、前年同期比576百万円（28.6%）減少の1,440百万円となりました。

当中間期は、不採算店舗の閉鎖を行い、営業の効率化を図りました。一店舗当たりの売上高を拡大すべく、収益性を重視した質の高い店舗づくりに努めてまいります。



### U-SPACE

—ユースペース—

トランクルーム。屋外にユニットハウスを設置するタイプから、建物を建設し、その中を間仕切る高品質なトランクルームへの入れ替えを進める。

2.8%

前期より、兼ねてから出店してきた屋外型タイプのトランクルームから、屋内型タイプのトランクルームへと切り替えを行っています。これは、他社との差別化を図り、U-SPACE

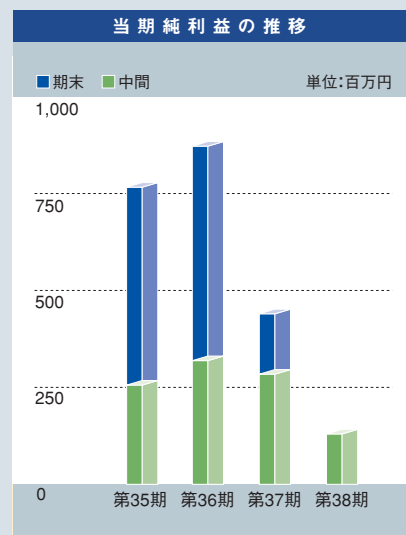
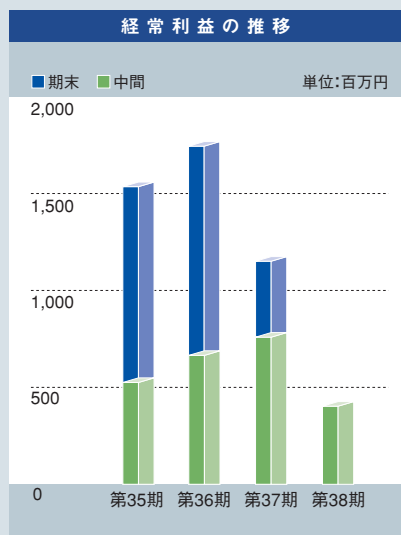
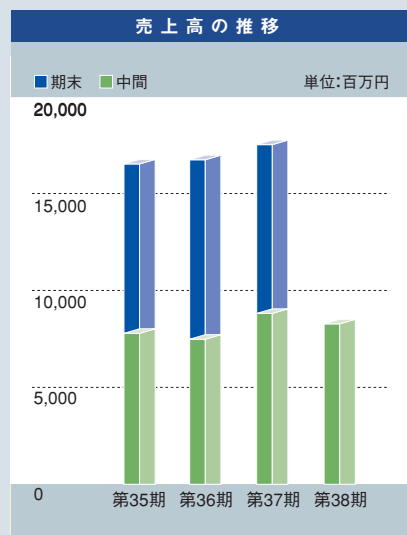
をブランドとして確立するため、推進しているものです。この結果、売上高は、前年同期比12百万円（5.9%）増加の230百万円となりました。今後も、防犯設備や空調設備、照明設備などが備わったトランクルームにより、お客様に安心と快適をご提供してまいります。



## 業績ハイライト

科目 \ 期別	第35期 (平成16年3月期)	第36期 (平成17年3月期)	第37期中間 (平成18年3月期)	第37期 (平成18年3月期)	第38期中間 (平成19年3月期)
売上高(千円)	16,465,236	16,758,846	8,812,323	17,473,985	8,277,162
経常利益(千円)	1,548,684	1,681,711	764,645	1,145,577	401,971
当期純利益(千円)	769,126	906,537	284,916	484,180	161,151
1株当たり当期純利益(円)	68.81	81.12	12.75	21.67	7.21
総資産(千円)	24,804,658	26,371,030	26,506,958	27,461,416	27,308,097
純資産(千円)	14,828,095	15,554,378	15,585,389	15,618,410	15,632,562
1株当たり純資産(円)	1,326.85	1,391.94	697.46	698.94	699.58

(注) 1) 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により算出しております。  
また、1株当たり純資産額は期末発行済株式総数から自己株式数を控除した株式数により算出しております。  
2) 平成17年11月18日付けで、1株につき2株の株式分割を行いました。  
第37期中間及び第37期の1株当たり情報は、期首に分割が行われたものとして算出しています。



#### 免責条項

本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 商品プロモーションイベントのため、 ユニットハウス「Quo (クオ)」レンタル

平成18年8月28日(月)～9月1日(金)まで、東京都千代田区大手町にて、当社のユニットハウス「Quo (クオ)」がイベント会場としてレンタルされました。これは、商品プロモーションのためのイベントであり、ビジネス街の中心に突如現れた会場には、多くのビジネスマンが立ち寄っていました。

イベントの会場設営を担当したお客様は、これまでテントやプレハブをご利用されていましたが、今回は設営の期間および納期の面からユニットハウスにご注目。スピーディで品質の高いユニットハウスを採用していただきました。

このように、建設現場だけでなく、イベントにおいてもユニットハウスが活躍する場があります。「必要なときに、必要なだけ、必要な空間を派遣する」という空間派遣業としての可能性をさらに開拓していきます。



ビジネス街に現れたイベント会場



多くのお客様がご来場



会場内の様子



会場内の様子

## SPACE NAVI柏中央店に、 新しいショールームがオープン

SPACE NAVI柏中央店(千葉県柏市)に、新しいショールームが完成。多くのお客様に、新しいユニットハウスの可能性を感じていただくため、リニューアルオープンフェア(平成18年9月9日～24日まで)を開催いたしました。柏中央店の9月の来店客数は、通常月の1.5倍となりました。

当中間期には、全国の展示場にて、パソコン上で3Dによるシミュレーションを行うことのできるシステムの導入を進めてまいりました。「ほしい空間をイメージしやすい」と、お客様よりご好評いただいております。これからも、オフィスやショップのイメージが膨らむようなユニットハウスの展示を充実させ、実際に見て、触れて、体感していただけるような展示場づくりに努めてまいります。



新しいショールーム



実物をご覧いただけます



3Dシミュレーションの画面イメージ



ご来店をお待ちしております

## 財務諸表

### 中間貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	第38期中間 (平成18年 9月30日)	第37期末 (平成18年 3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,034,826	7,396,573
現金及び預金	1,223,470	808,984
受取手形	680,756	1,921,982
営業未収入金	2,733,160	2,536,566
売掛金	495,095	616,479
棚卸資産	1,397,322	1,320,439
繰延税金資産	79,420	119,098
その他	465,091	144,022
貸倒引当金	△ 39,490	△ 71,000
固定資産	20,273,271	20,064,843
有形固定資産	19,071,512	18,509,960
Point 1 レンタル資産	10,255,239	10,193,910
建物	1,297,819	1,240,265
土地	6,843,678	6,429,415
その他	674,774	646,367
無形固定資産	96,110	396,138
投資その他の資産	1,105,648	1,158,744
繰延税金資産	174,855	176,655
その他	932,303	1,038,089
貸倒引当金	△ 1,510	△ 56,000
資産合計	27,308,097	27,461,416

※貸借対照表につきましては、“第37期中間”ではなく、“第37期末”を併記しています。

#### Point 1

##### 【レンタル資産】

レンタル用ユニットハウスへ、1,179百万円の投資を行いました。9月末の保有棟数は60,645棟(前期末比1,236棟増)となりました。当中間期の平均稼働率は79%と高い水準で推移しています。

(単位:千円)

科目	第38期中間 (平成18年 9月30日)	第37期末 (平成18年 3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,533,457	7,487,299
支払手形	413,491	450,574
買掛金	1,826,053	2,190,698
短期借入金	2,600,000	2,100,000
未払費用	1,493,423	1,455,295
未払法人税等	231,000	289,860
賞与引当金	104,400	116,500
その他	865,089	884,371
固定負債	4,142,077	4,355,706
長期借入金	3,800,000	4,000,000
退職金給付引当金	317,696	325,241
その他	24,380	30,465
負債合計	11,675,534	11,843,006
<b>資本の部</b>		
資本金	—	1,545,450
資本剰余金	—	2,698,150
利益剰余金	—	11,615,896
その他有価証券評価差額金	—	15,084
自己株式	—	△ 256,170
資本合計	—	15,618,410
負債資本合計	—	27,461,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本	15,624,817	—
資本金	1,545,450	—
資本剰余金	2,698,150	—
利益剰余金	11,637,387	—
自己株式	△ 256,170	—
評価・換算差額等	7,745	—
その他有価証券評価差額金	7,745	—
純資産合計	15,632,562	—
負債純資産合計	27,308,097	—

## 中間損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第38期中間 (自平成18年 4月 1日 至平成18年 9月30日)	第37期中間 (自平成18年 4月 1日 至平成18年 9月30日)
営業収益	8,277,162	8,812,323
Point 2 レンタル料収入	5,959,785	5,739,110
2 製品売上高	2,317,377	3,073,212
営業費用	7,809,908	8,024,762
Point 3 レンタル料収入原価	3,629,889	3,705,708
3 製品売上原価	1,381,698	1,636,914
3 販売費及び一般管理費	2,798,319	2,682,140
営業利益	467,254	787,558
営業外収益	36,061	20,948
営業外費用	101,344	43,861
経常利益	401,971	764,645
特別利益	27,976	2,021
特別損失	22,068	165,489
税引前中間純利益	407,879	601,177
法人税等	246,727	316,260
中間純利益	161,151	284,916

### Point 2

#### 【製品売上高】

SPACE NAVI事業(ユニットハウスの展示販売)では、建設現場向けユニットハウスのレンタルが堅調なため、中古ユニットハウスの供給を維持することが困難になったこともあり、前期より、新棟のユニットハウスを中心に販売する展示場とし、特にオフィス用ユニットハウスの販売に注力しています。しかしながら、第1四半期の苦戦が響き、ユニットハウスの製品売上高は、2,148百万円(前年同期比28.0%減)となりました。

### Point 3

#### 【販売費及び一般管理費】

U-SPACE事業(トランクルーム)の屋外型から屋内型のトランクルームへの移行に伴う閉鎖および新規出店、およびSPACE NAVI事業(ユニットハウスの展示販売)の製品の展示設置および店舗の閉鎖に伴う諸経費が増加したことにより、販売費及び一般管理費は116百万円増加しました。

## 財務諸表

### 中間株主資本等変動計算書 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計						
			固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
平成18年3月31日 残高	1,545,450	2,698,150	177,680	220,250	10,544,000	673,965	11,615,896	△256,170	15,603,326	15,084	15,084	15,618,410
中間会計期間中の 変動額												
固定資産圧縮積立金の取崩(注)				△58,855		58,855	—		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩(中間期)				△27,442		27,442	—		—			—
別途積立金の積立(注)					300,000	△300,000	—		—			—
剰余金の配当(注)						△139,661	△139,661		△139,661			△139,661
中間純利益						161,151	161,151		161,151			161,151
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)										△7,338	△7,338	△7,338
中間会計期間中の 変動額合計	—	—	—	△86,298	300,000	△192,210	21,490	—	21,490	△7,338	△7,338	14,152
平成18年9月30日 残高	1,545,450	2,698,150	177,680	133,951	10,844,000	481,755	11,637,387	△256,170	15,624,817	△7,745	△7,745	15,632,562

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目です。

#### 【純資産の部】の新設

貸借対照表は、財務諸表規則の改正(平成18年5月1日の会社法施行に伴うもの)により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを「純資産の部」に記載しています。

#### 【株主資本等変動計算書】の新設

財務諸表規則の改正(平成18年5月1日の会社法施行に伴うもの)により、「株主資本等変動計算書」が新設されました。貸借対照表の「純資産の部」の中の、主として株主の皆様に帰属する株主資本について、1会計期間における変動の事由と金額を記載するものです。

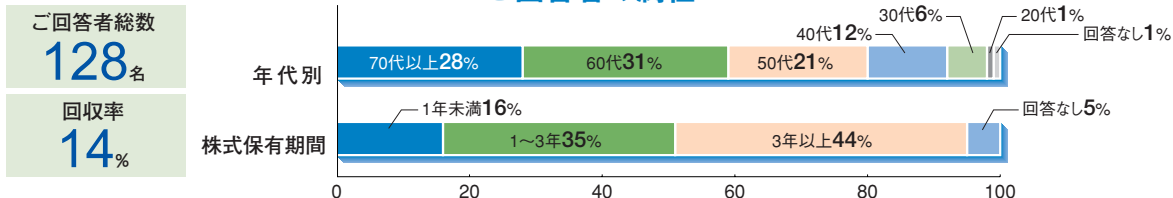


## 株主アンケート結果のご報告 —アンケートのご質問にお答えします—

第37期事業報告書アンケートでは、株主の皆様から多くの貴重なご意見・ご感想をいただきました。ご協力いただきました方々に対し、厚く御礼申し上げます。当社では、株主の皆

様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動に反映させていきたいと考えております。

### ご回答者の属性



**Q** 配当政策はどのように考えていますか。

**A** 当社は、株主各位に対する利益還元を重要な経営課題として位置づけており、長期的な観点から安定的な配当の継続を図ることを重視しています。また、コスト競争力の維持強化を図るための投資および財務体質強化のため、内部留保を充実することを基本の考えとしています。この方針のもと、配当金については、中期的に目標配当性向35%を目安として利益還元を実施していく方針です。なお、内部留保資金については、収益力と競争力の強化を目的として研究開発・生産設備等に有効投資していきたいと考えています。

**Q** 施工例の開示をもっと積極的にPRしてはいかがでしょうか。メーカーとして何を提供しているのか、施工例を見るとよく分かるのではないのでしょうか。

**A** 「ユニットハウス＝建設現場の仮設事務所」というイメージが根強いのが現状であり、今後、ユニットハウスを拡販していくためには、仮設から本設へと進化したユニットハウスを積極的にPRしていく必要があると考えています。

現在、SPACE NAVIの展示場では、施工例を大きく掲載した看板を立てたり、ホームページでは、施工例の紹介を充実させたりするなど、様々な媒体により施工例をご覧いただけるよう努めております。また、株主の皆様には、この事業報告書を通じて、身近な利用例をご紹介したいと考えています。

今後とも積極的なPR活動に努めてまいります。ご支援どうぞよろしくお願いたします。



道路側に施工例看板を設置した展示場

## 企業の概況

### 会社概要

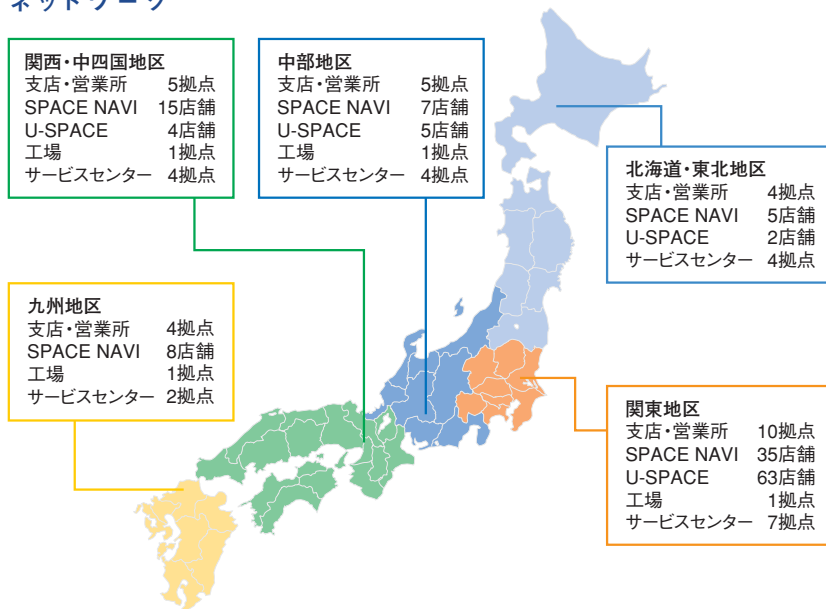
(平成18年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	昭和44年12月5日
事業内容	1.ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2.トランクルームの製造・販売・レンタル 3.立体駐車装置の製造・販売・レンタル

役員	取締役会長	長妻和男	取締役執行役員	山本敏朗
	代表取締役社長	長妻貴嗣	取締役執行役員	多木俊男
	常務取締役	端山秀人	常勤監査役	海保俊雄
	取締役執行役員	久納正義	監査役	鈴木将雄
	取締役執行役員	三戸茂夫	監査役	重田龍男
	取締役執行役員	小山栄英	監査役	山崎直人
	取締役執行役員	石原幸夫		

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-15)第18154号  
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録第1-0204-1483号

### ネットワーク



新潟工場(新潟)



久留米工場(福岡)



岩井工場(茨城)



山崎工場(兵庫)



本社(千葉)

## 株式の概況

(平成18年9月30日現在)

### 会社が発行する株式の総数

60,000,000株

### 発行済株式の総数

23,356,800株

### 1単元の株式の数

1,000株

### 株主数

1,044名(前期末比126名増)

(注)平成17年11月18日付けで、株式1株につき2株の株式分割を行っています。これにより株式数は11,678,400株増加し、発行済株式数は23,356,800株となっています。

### 大株主

株主名	持株数	株式比率
(有)和幸興産	9,733千株	41.67%
長妻 貴嗣	2,823	12.09
長妻 和男	2,148	9.20
ドレスナーバンクエーजीーフランクフルト エクイティーズカスタマーズアカウント	925	3.96
日本マスタートラスト信託銀行(株)(リテール信託口)	465	1.99
(株)東日本銀行	327	1.40
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	254	1.09
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.86
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77

(注)当社は自己株式を1,011千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 株主メモ

**事業年度** 4月1日～翌年3月31日

**定時株主総会開催時期** 6月下旬

**同総会議決権行使基準日** 3月31日

その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。

**期末配当金支払基準日** 3月31日

**中間配当金支払基準日** 9月30日

**公告掲載URL** <http://www.sankyofrontier.com/>

**株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

**同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

**郵便物送付先** 〒171-8508  
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### 電話お問合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)  
自動音声応答サービス 0120-86-4490  
【住所変更、配当金振込指定、変更に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求を24時間承っております。】

### 単元未満株式の買取請求 および買増請求

単元未満株式の買取請求および買増請求は、上記事務取扱場所および取次所にて受付けております。ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。

また、買増請求は、毎年3月31日の12営業日前から3月31日まで、および9月30日の12営業日前から9月30日まではお取扱いができませんので、ご注意ください。

 **三協フロンティア株式会社**

千葉県柏市新十余二5番地  
Tel 04-7133-6666

<http://www.sankyofrontier.com/>



**r100**



この報告書は再生紙、大豆油インキを使用しています。